

概要

本研究は様々な競技会において採用されている対戦の組合せ方式の特徴に着目し、参加チームの総数を24チームに絞った場合のハンデ戦を考察する。その際、グラフ理論の重みつきグラフとマッチングの考え方を利用して、力に差のあるチームが一堂に会している大会であっても全てのチームが同程度の確率で優勝できることを目標に組合せを考えることを目指している。

最終的には本研究の内容が一般のNチームの参加する大会でも利用できるようになることを目標にしている。